

北海道小平高等養護学校の概要

本校は、北海道新教育長期総合計画後期実施計画の一環として、保護者、地域のニーズに応え、後期中等教育の機会拡充を図るために、平成8年4月に開校しました。

開校以来、生徒たちの「自立」と「社会参加」を目指し、一人一人の教育的ニーズに応じた専門性の高い教育の充実を図っています。また、留萌管内唯一の特別支援学校として、特別支援教育のセンター的機能を担っています。

校章について



- 1 平成8年4月1日に定める。
- 2 開校にあたり初代校長手代木荘司が意匠を発案する。
- 3 意匠……外郭は北海道小平高等養護学校の「小平」と「太陽」を表している。外郭と五角形の間にある半円は「海」を、五角形の中にある2本線は「緑の里」をそれぞれ表している。

また、海、太陽、緑の里から受けるイメージを、海は「広い心」太陽は「意欲及び活動源」緑の里は「優しい心」にそれぞれ置き換えて、生徒が健やかに育つことを願っている。

内郭の五角形は、本校教育の指標である「心」「体」「働く」「学ぶ」「創る」の5つを表し、生徒の心身の成長・発達が調和的であり、「職業自立」と「社会自立」を目指し、たくましく生きぬいていく力が育つことを期待している。

校歌

北海道小平高等養護学校

校歌

作詞 手代木 荘司
作曲 石 塚 智 彦
編曲 石 塚 真 美

一 緑やさしい 小平の里に
笑顔のあいさつ 響き合い

明るく学ぶ 喜びに
豊かな心 つくります
明日を夢みて 歩こうよ

二 陽光まぶしい 温寧の丘に
集う若者 共に生き

自ら学ぶ 楽しさに
優しい心 つくります
明日を夢みて 歩こうよ

三 風雪きびしい 歴史の里に
虹のかけ橋 共にあり

生き方学び たくましく
丈夫な体 つくります
明日を夢みて 歩こうよ

沿 革 の 概 要

平成6年度	11月30日	(仮称)北海道道北地区高等養護学校第1期新築外構工事竣工
	3月25日	(仮称)北海道道北地区高等養護学校第1期寄宿舎棟新築工事竣工
平成7年度	6月8日	(仮称)北海道道北地区高等養護学校第1期校舎新築工事竣工
	10月1日	手代木荘司他5名開校事務取扱発令
	11月15日	(仮称)北海道道北地区高等養護学校第2期新築外構工事竣工
	12月28日	北海道条例第54号により北海道小平高等養護学校を設置
平成8年度	3月25日	第2期校舎新築・屋内体育館新築・第2期新築外溝工事竣工
	4月1日	初代校長 手代木 荘司、他職員52名発令
	4月17日	第1回入学式(生活園芸科8名、生活窯業科7名、木工科8名、クリーニング科8名、計31名)
	6月7日	開校式並びに校舎落成記念祝賀会
	3月14日	柔剣道場新築・水泳プール及び上屋新築工事竣工
平成9年度	4月10日	第2回入学式(生活園芸科8名、生活窯業科8名、木工科6名、クリーニング科6名、計28名)
平成10年度	4月9日	第3回入学式(生活園芸科2名、木工科6名、クリーニング科7名、計15名)
	3月7日	第1回卒業証書授与式(生活園芸科8名、生活窯業科6名、木工科8名、クリーニング科7名、計29名)
平成11年度	4月1日	第2代校長 中西 毅発令
	4月9日	第4回入学式(生活園芸科2名、生活窯業科2名、木工科5名、クリーニング科5名、計14名)
	3月5日	第2回卒業証書授与式(生活園芸科7名、生活窯業科8名、木工科6名、クリーニング科6名、計27名)
平成12年度	4月11日	第5回入学式(生活園芸科7名、生活窯業科7名、木工科4名、クリーニング科3名、計21名)
	3月4日	第3回卒業証書授与式(生活園芸科2名、木工科6名、クリーニング科7名、計15名)
平成13年度	4月10日	第6回入学式(生活園芸科3名、生活窯業科3名、木工科4名、クリーニング科6名、計16名)
	4月20日	小平オンネ風力発電所(小平はつでんくん)発電式
	11月22日	公開研究会開催
	3月3日	第4回卒業証書授与式(生活園芸科2名、生活窯業科2名、木工科4名、クリーニング科5名、計13名)
平成14年度	4月1日	第3代校長 齊藤哲男発令
	4月9日	第7回入学式(生活園芸科6名、生活窯業科5名、木工科1名、クリーニング科2名、計14名)
	3月9日	第5回卒業証書授与式(生活園芸科7名、生活窯業科7名、木工科3名、クリーニング科3名、計20名)
平成15年度	4月9日	第8回入学式(生活園芸科5名、生活窯業科4名、木工科5名、クリーニング科4名、計18名)
	3月7日	第6回卒業証書授与式(生活園芸科3名、生活窯業科3名、木工科4名、クリーニング科6名、計16名)
平成16年度	4月9日	第9回入学式(生活園芸科8名、木工科5名、クリーニング科6名、計19名)
	2月22日	平成16年度留萌管内教育実践表彰受賞、留萌管内教育課程実践研究論文表彰
	3月6日	第7回卒業証書授与式(生活園芸科4名、生活窯業科5名、木工科1名、クリーニング科2名、計12名)
平成17年度	4月1日	第4代校長 鎌田 篤発令
	4月11日	第10回入学式(生活園芸科9名、木工科4名、クリーニング科5名、計18名)
	7月9日	開校10周年記念式典・公開研究会開催
	3月4日	第8回卒業証書授与式(生活園芸科5名、生活窯業科4名、木工科5名、クリーニング科4名、計18名)
平成18年度	4月11日	第11回入学式(生活園芸科8名、木工科3名、クリーニング科6名、計17名)
	3月3日	第9回卒業証書授与式(生活園芸科8名、木工科5名、クリーニング科6名、計19名)
平成19年度	4月10日	第12回入学式(生活園芸科8名、木工科9名、クリーニング科8名、計25名)
	3月8日	第10回卒業証書授与式(生活園芸科9名、木工科4名、クリーニング科5名、計18名)
平成20年度	4月9日	第13回入学式(生活園芸科8名、木工科6名、クリーニング科8名、計22名)
	3月7日	第11回卒業証書授与式(生活園芸科8名、木工科3名、クリーニング科6名、計17名)
平成21年度	4月1日	第5代校長 木村 誠発令
	4月9日	第14回入学式(生活園芸科8名、木工科8名、クリーニング科7名、計23名)
	11日	小平オンネ風力発電所(小平はつでんくん)、落雷による故障のため撤去
	3月6日	第12回卒業証書授与式(生活園芸科8名、木工科9名、クリーニング科8名、計25名)

平成 22 年度	4 月 1 日	産業科開設
	4 月 9 日	第 15 回入学式（木工科 5 名、クリーニング科 8 名、産業科 8 名、生活園芸科 8 名、計 29 名）
	3 月 5 日	第 13 回卒業証書授与式（木工科 6 名、クリーニング科 8 名、生活園芸科 8 名、計 22 名）
平成 23 年度	4 月 1 日	第 6 代校長 島 まゆみ発令
	4 月 11 日	第 16 回入学式（木工科 8 名、クリーニング科 9 名、産業科 8 名、生活園芸科 8 名、計 33 名）
	3 月 3 日	第 14 回卒業証書授与式（木工科 8 名、クリーニング科 7 名、生活園芸科 8 名、計 23 名）
平成 24 年度	4 月 10 日	第 17 回入学式（木工科 7 名、クリーニング科 8 名、産業科 3 名、生活園芸科 8 名、計 26 名）
	3 月 9 日	第 15 回卒業証書授与式（木工科 5 名、クリーニング科 8 名、産業科 8 名、生活園芸科 7 名 計 28 名）
平成 25 年度	4 月 9 日	第 18 回入学式（木工科 6 名、クリーニング科 4 名、産業科 8 名、生活園芸科 8 名、計 26 名）
	3 月 7 日	第 16 回卒業証書授与式（木工科 8 名、クリーニング科 8 名、産業科 8 名、生活園芸科 8 名 計 32 名）
平成 26 年度	4 月 1 日	第 7 代校長 矢野 光男発令
	4 月 9 日	第 19 回入学式（木工科 6 名、クリーニング科 8 名、産業科 8 名、生活園芸科 8 名、計 30 名）
	3 月 1 日	第 17 回卒業証書授与式（木工科 7 名、クリーニング科 8 名、産業科 3 名、生活園芸科 8 名 計 26 名）
平成 27 年度	4 月 9 日	第 21 回入学式（木工科 7 名、クリーニング科 5 名、産業科 8 名、生活園芸科 8 名、計 28 名）
	11 月 19 日	20 周年記念公開授業研究会
	3 月 5 日	第 18 回卒業証書授与式（木工科 6 名、クリーニング科 4 名、産業科 8 名、生活園芸科 8 名 計 26 名）
平成 28 年度	4 月 1 日	第 8 代校長 野村 俊夫発令
	4 月 11 日	第 21 回入学式（木工科 1 名、クリーニング科 6 名、産業科 7 名、生活園芸科 5 名、計 19 名）
	3 月 4 日	第 19 回卒業証書授与式（木工科 6 名、クリーニング科 8 名、産業科 8 名、生活園芸科 8 名 計 30 名）
平成 29 年度	4 月 11 日	第 22 回入学式（木工科 8 名、クリーニング科 3 名、窯業科 5 名、園芸科 2 名 計 18 名）
	2 月 5 日	平成 30 年度留萌管内教育実践表彰受賞
	3 月 3 日	第 20 回卒業証書授与式（木工科 7 名、クリーニング科 5 名、産業科 6 名、生活園芸科 8 名 計 26 名）
平成 30 年度	4 月 1 日	第 9 代校長 田近 和憲発令
	4 月 10 日	第 23 回入学式（木工科 5 名、クリーニング科 1 名、窯業科 2 名、園芸科 5 名 計 13 名）
	3 月 9 日	第 21 回卒業証書授与式（木工科 1 名、クリーニング科 6 名、産業科 6 名、生活園芸科 5 名、 計 18 名）
平成 31 年度	4 月 9 日	第 24 回入学式（木工科 6 名、クリーニング科 4 名、窯業科 7 名、園芸科 2 名 計 19 名）
	3 月 31 日	第 22 期生卒業（木工科 8 名、クリーニング科 3 名、窯業科 5 名、園芸科 2 名 計 18 名）
令和元年度	6 月 14 日	大規模改造工事（第 1 期）着工
	2 月 14 日	大規模改造工事（第 1 期）竣工
令和 2 年度	4 月 13 日	第 25 回入学式（クリーニング科 4 名、窯業科 4 名 計 8 名）
	6 月 26 日	大規模改修工事（第 2 期）着工
	3 月 12 日	第 23 回卒業証書授与式（木工科 5 名、窯業科 2 名、園芸科 4 名 計 11 名）
	3 月 15 日	大規模改修工事（第 2 期）竣工
令和 3 年度	4 月 1 日	第 10 代校長 源 一広発令
	4 月 13 日	第 26 回入学式（木工科 4 名、クリーニング科 1 名、窯業科 4 名 計 9 名）
	4 月 30 日	大規模改修工事（第 3 期）着工
	1 月 13 日	大規模改修工事（第 3 期）竣工
	3 月 4 日	第 24 回卒業証書授与式（木工科 5 名、クリーニング科 4 名、窯業科 7 名、園芸科 2 名、計 18 名）
令和 4 年度	4 月 12 日	第 27 回入学式（木工科 4 名、クリーニング科 2 名、窯業科 2 名 計 8 名）
	3 月 3 日	第 25 回卒業証書授与式（クリーニング科 3 名、窯業科 4 名、計 7 名）
令和 5 年度	4 月 1 日	第 11 代校長 齋藤 利文発令
	4 月 10 日	第 28 回入学式（木工科 6 名、クリーニング科 2 名、窯業科 5 名 計 13 名）
	3 月 1 日	第 26 回卒業証書授与式（木工科 4 名、クリーニング科 1 名、窯業科 4 名、計 9 名）
令和 6 年度	4 月 9 日	第 29 回入学式（木工科 4 名、窯業科 4 名 計 8 名）
	3 月 7 日	第 27 回卒業証書授与式（木工科 4 名、クリーニング科 1 名、窯業科 2 名、計 7 名）
令和 7 年度	4 月 9 日	第 30 回入学式（木工科 1 名、窯業科 8 名 計 9 名）

＜本校が社会に果たす役割（スクールミッション）＞

本校は、北海道における今後の特別支援教育の充実に向けて、社会情勢の変化や国の動向を把握するなど、現状と課題を整理し、新たな「特別支援教育に関する基本方針」（令和5年3月）に基づき障がいのある子どもと障がいのない子どもがともに学ぶ共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの理念の下、全ての子どもたちが、障がいの有無にかかわらず、多様な個性を互いに認め合い、支え合いながら、ともに学んでいくことができる環境を醸成し、誰もが生き生きと働く生活を送ることのできる社会の実現の具現化と人材を育成します。

1 校訓

「笑顔・助け合い・学び合い」

2 学校教育目標

夢に向かって挑戦し 未来を切り拓く人を育てる

3 グラデュエーションポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

- ・夢の実現に向けて、自ら考え、判断し、行動し、好奇心を持ち何事にも挑戦できる生徒の育成
- ・一人一人の違いを理解し、他者を尊重できる生徒の育成
- ・情報を収集し、自分の考えや伝え、意見や理解の相違を解決し、他者と協働し社会に参加し、貢献できる生徒の育成

4 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

教科等の横断的視点から教育課程の充実を図り、生徒の障害の実態や特性及び心身の発達の段階に応じて、言語能力、情報活用能力（情報モラルを含む）、問題発見・解決能力の学習の基盤の向上努める。

- （1） 職業教育を主とする専門学科や、総合的な探求の時間の充実に努め、各教科等で培われた資質・能力を総合的に関連づけながら、実際の・体験的な学習や、具体的な指導内容を設定して、自己の在り方生き方を考えながら自ら課題解決する機会を拡充して、主体的にかつ協働的に取り組む態度ができるよう工夫する。
- （2） 各教科等の特性を踏まえ、生徒間の対話等を通して考えさせ、表現させる授業や新たな気づきや発見のある授業場面を通して、自ら学びに向かって深く掘り下げることにより、多様な場面に対応が可能である知識や技能を獲得できるよう工夫する。
- （3） 全教育活動を通して、生徒が学ぶことと自己の未来とのつながりを意識し、キャリア発達を促すキャリア教育の充実をし、一人一人の社会的・職業的自立につながるよう工夫する。

5 アドミッション・ポリシー（入学する生徒像に関する方針）

- （1） 特別支援学校高等部における学習内容等を理解し、学ぶ意欲がある生徒

「ウェルビーイング」に向けた教育課程編成への取組

何を学ぶのか		ウェルビーイング	実施するために何が必要か	
教育課程のカリキュラムマネジメント	<目指す生徒像> - 様々な情報を収集し、活用する。 - 様々な場面における言葉の意味や使い方を理解し、活用する。 - 目標をもち達成に向けて計画的に行動する。 - 感情をコントロールする。 - ルールを理解し、参加する。 - 自分の困り感を相手に伝える。 - 他者の立場や役割を尊重する。 - 自らの考えを伝え、他者との意見や、理解の相違を課題として認識し、解決する。 - 共通の目標の達成に向けて他者と協働する。 - 危機への備えや、日常生活の自己管理をする。	<校訓> 「笑顔・助け合い・学び合い」 <学校教育目標> 夢に向かって挑戦し、未来を切り拓く人材を育成する。 夢の実現に向けて目標をもち、何事にも挑戦し、一人一人の違いを理解し自分の考えや伝え、意見や理解の相違を解決し、他者と協働し社会に参加し、貢献する生徒の育成 何ができるようになるか。 育成する資質・能力 情報を収集する力 コミュニケーション力 他の人を理解する力 自己を理解する力 協働する力 地域で生活する力	学校経営のカリキュラムマネジメント	<目指す教師像> - 時代に応じた教育、学校の社会的役割・服務等を理解し、職務上の義務を果たす。 - 人権意識に基づき、全ての子どもを尊重するとともに、職場全体の意識が高まるような働きかけをする。 - 学校の課題を理解し、組織的・協働的な体制づくりの重要性を深めるとともに、適切な情報の活用、再構成を通して、求められた資質・能力を高めるため学び続ける。 - 学習者中心の授業の創造に向けて、指導計画を立案し、授業力向上に努める。 - 主体的・対話的で深い学びが求められる背景や、重要性を理解し、授業改善する。 - 子ども心身の発達の過程や特徴、取り巻く環境や、背景を含め的確に理解する。 - 授業や校務等で、ICT を効果的に活用する。 - 学校の経営方針を生徒や、保護者、地域等に分かりやすく伝えとともに、相手の意図を正確に理解し、円滑に意思疎通を行い良好な人間関係を構築する。 - 全体的な視野に立ち、ほかの教職員とも協働しながら、組織の一員として積極的に学校づくりに関わり、持続可能な課題解決にあたる。 - 人材育成の重要性を踏まえ、互いの課題や悩みに気づき、環境整備に努める。
	<教育活動・指導の重点> - 生徒の実態把握に基づく適切な指導の徹底 - 障害の種類や特性、程度に応じた指導の徹底 - 発達段階に応じた指導の徹底 - 個別の指導計画に基づく適切な指導 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の指導の充実 - 作業学習、道徳、総合的な探究の時間の指導内容・指導方法の充実 - 教育相談体制の充実 - 人権尊重の理念に立った生徒指導の実施 - ICT を活用とした多様学びの実現 - 授業における活用 - 寄宿舎における活用 - 居住地における活用 - 防災教育の充実 - 地域を活用した寄宿舎における教育活動の充実	カリキュラムマネジメント 組織マネジメント 何が身についたか。 研究テーマ 「資質・能力の育成を目指した授業づくりの推進」 ～学びと生徒の未来を繋げる教育活動の充実～		<経営の方針・重点> - 教職員一人一人が、本校職員としての誇りを持ち、それぞれの 特性を発揮し、相互理解と協働による業務を推進します。 - 学年、分掌、学舎等が、日常的な連携を密にし、機能的で持続可能な組織の充実に図ります。 - 学校課題に即応するための校務の整理と体制づくりを図ります。 - 授業の充実を目指し、教職員の専門的力量や授業力の向上を図るための研修の充実に努めます。 - 新学習指導要領に基づく、教育課程の編成・充実・改善に努めます。 - ICT 機器の活用と学習保障の機会の設定に努めます。 - 学校運営協議会によると地域の参画による多様な教育活動の推進をします。 - センター的機能の充実におけた課題の整理し、留萌管内における特別支援教育の充実に努めます。 - 寄宿舎の教育活動が未来の生活につながるよう「魅力ある寄宿舎」を構築します。 - 人材育成をする持続可能な仕組みを構築します。
子供の一人一人の発達をどのように支援するか		どのように学ぶか	子供の一人一人の発達をどのように支援するか	

2 教育課程

(1) 日課表

ア 第1学年

	月	火	水	木	金
8:35	生徒登校				
8:40	SHR				
8:50					
8:50	ライフスキル				
9:05					
9:05	全校朝会/ LHR	体力づくり			
9:55					
10:05	美術 ライフキャリア / 家庭	作業	作業	理科	作業
10:55				総合/ 情報	
11:00					
11:50					
11:55					
12:45	給食・昼休み				
13:30	音楽				
14:20					
14:25	社会	国語	国語/ 数学 生徒会/ 委員会	保健体育	SHR
15:15					下校13:40
15:15	掃除 SHR				
15:35					

イ 第2学年

	月	火	水	木	金
8:35	生徒登校				
8:40	SHR				
8:50					
8:50	ライフスキル				
9:05					
9:05	全校朝会/ LHR	体力づくり			
9:55					
10:05	理科	国語	作業学習	作業学習	美術
10:55					
11:00	作業学習	総合/ 情報			ライフキャリア/ 家庭
11:50					
11:55					
12:45					
12:45	給食・昼休み				
13:30					
13:30	作業学習	保健体育	数学	社会	SHR
14:20					
14:25			生徒会/ 委員会	音楽	下校13:40
15:15					
15:15	掃除 SHR				
15:35					

ウ 第3学年

	月	火	水	木	金	
8:35	生徒登校					
8:40	SHR					
8:50						
8:50	ライフスキル					
9:05						
9:05	全校朝会/ LHR	体力づくり				
9:55						
10:05	数学	作業学習	美術	作業学習	国語	
10:55						
11:00	総合/ 情報		ライフキャリア/ 家庭			音楽
11:50						
11:55						理科
12:45		給食・昼休み				
13:30						
13:30	保健体育	作業学習	社会	作業学習	SHR	
14:20						
14:25			生徒会/ 委員会			
15:15					下校 13:40	
15:15	掃除 SHR					
15:35						

エ 寄宿舎

曜 日	月	火	水	木	金	日
時 刻						
6:30			起 床・清 掃			
7:15			配 膳			
7:30			朝 食			
8:00			登 校 準 備			
8:35			登 校			
	学 校 の 日 課					
13:30						帰 舎
13:40					下 校	
14:30						
15:35	入 浴 洗濯・自由時間	シャワー浴 洗濯・自由時間	入 浴 洗濯・自由時間	シャワー浴 洗濯・自由時間		自由時間
17:15			配 膳			配 膳
17:30			夕 食			夕 食
18:00			洗面・洗濯			洗面・洗濯
18:30			特別区域清掃・自由時間			特別区域清掃
19:00			集 会			自由時間
			就寝準備			就寝準備
21:00						
21:40			消 灯 就 寝			消 灯 就 寝

(4) 授業計画

ア 年間授業日数

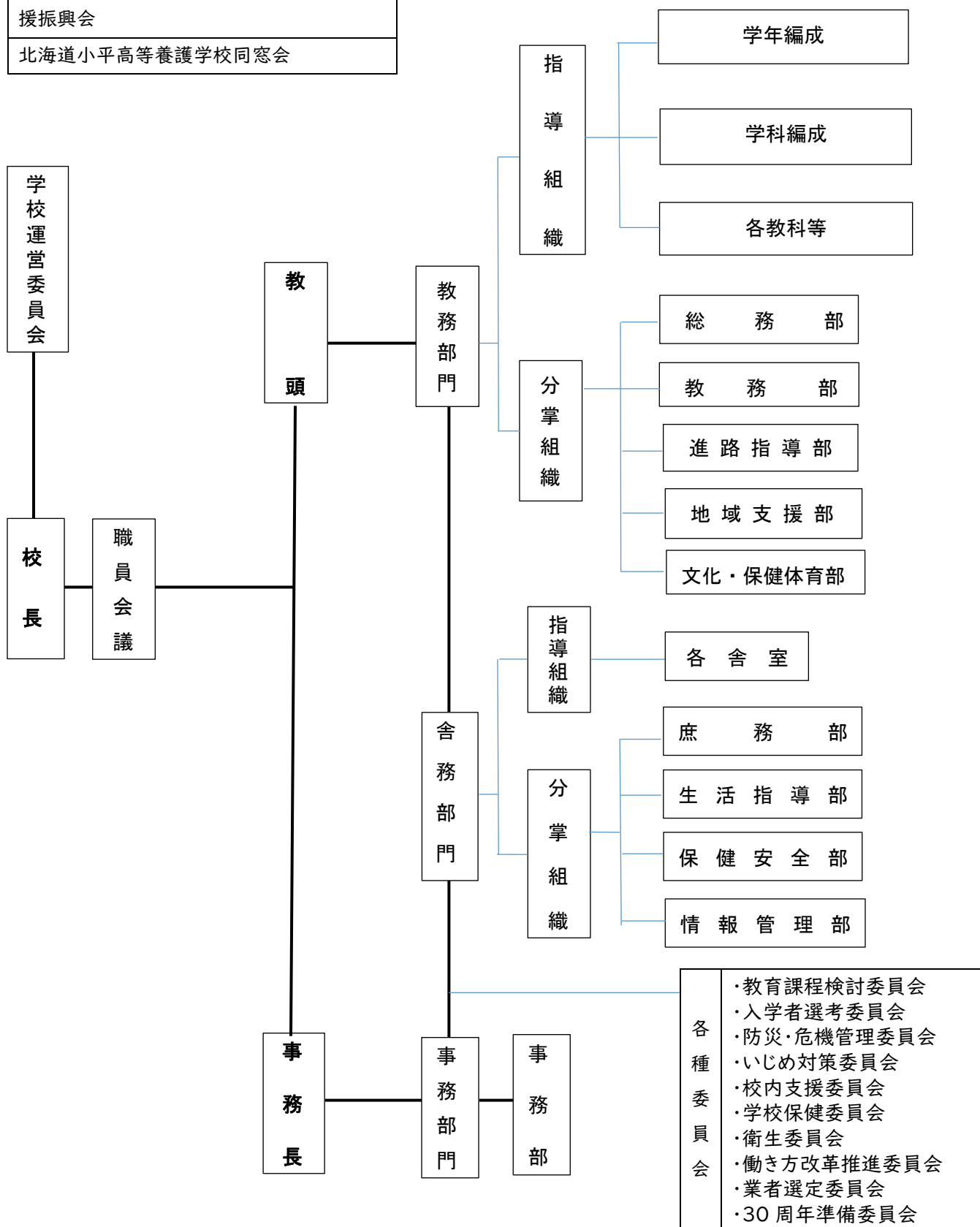
	月	日数	学年	休業日				授業日数	備 考	
				土・日	祝日	休業日	合計			
1 学期	4	30	1	6	2	8	16	14	1 学期始業式	4 月 8 日
			2	6	2	7	15	15	入学式	4 月 9 日
			3	6	2	7	15	15		
	5	31	1	9	1	1	11	20	職場見学 (1 学年)	5 月 15 日
			2	9	1	1	11	20	見学旅行 (3 学年)	5 月 13 日～16 日
			3	9	1	1	11	20	現場実習 (2 学年 I 期)	5 月 26 日～29 日
	6	30	1	9	0	0	9	21	学校公開	6 月 12 日
			2	9	0	0	9	21	体育大会	6 月 20 日
			3	9	0	0	9	21		
	7	31	1	8	1	4	13	18	海浜学習	7 月 16 日
			2	8	1	4	13	18	1 学期終業式	7 月 25 日
			3	8	1	4	13	18		
2 学期	8	31	1	2	0	25	27	4	2 学期始業式	8 月 26 日
			2	2	0	25	27	4		
			3	2	0	25	27	4		
	9	30	1	8	1	1	10	20	現場実習 (1～3 学年)	1 学年 9 月 8 日～9 月 11 日
			2	8	1	1	10	20		2 学年 9 月 8 日～9 月 19 日
			3	8	1	1	10	20		3 学年 9 月 8 日～10 月 3 日
	10	31	1	8	1	0	9	22		
			2	8	1	0	9	22		
			3	8	1	0	9	22		
	11	30	1	9	2	1	12	18	学校祭	11 月 15 日
			2	9	2	1	12	18		
			3	9	2	1	12	18		
	12	31	1	6	0	6	12	19	2 学期終業式	12 月 25 日
			2	6	0	6	12	19		
			3	6	0	6	12	19		
3 学期	1	31	1	3	0	18	21	10	3 学期始業式	1 月 19 日
			2	3	0	18	21	10		
			3	3	0	18	21	10		
	2	28	1	8	2	0	10	18	総合学習成果報告会	2 月 13 日
			2	8	2	0	10	18		
			3	8	2	0	10	18		
	3	31	1	7	1	7	15	16	卒業証書授与式	3 月 6 日
			2	7	1	7	15	16		
			3	1	0	25	26	5		
合計	365		1	83	11	71	165	200		
			2	83	11	70	164	201		
			3	77	10	88	175	190		

イ 年間授業時数 (1 単位時間 50 分 35 週)

		木工科			クリーニング科				窯業科		
指導形態		1年	2年	3年				3年	1年	2年	3年
作	業 学 習	315	350	350				350	315	350	350
各教科の授業	国 語	52.5	35	35				35	52.5	35	35
	社 会	35	35	35				35	35	35	35
	数 学	52.5	35	35				35	52.5	35	35
	理 科	35	35	35				35	35	35	35
	音 楽	35	35	35				35	35	35	35
	美 術	35	35	35				35	35	35	35
	保 健 体 育	210	210	210				210	210	210	210
	ライフキャリア	35	35	35				35	35	35	35
	家 庭	35	35	35				35	35	35	35
	情 報	17.5	17.5	17.5				17.5	17.5	17.5	17.5
	小 計	542.5	507.5	507.5				507.5	542.5	507.5	507.5
総合的な探究の時間		52.5	52.5	52.5				52.5	52.5	52.5	52.5
特 別 活 動		150.5	150.5	150.5				150.5	150.5	150.5	150.5
ラ イ フ ス キ ル		52.5	52.5	52.5				52.5	52.5	52.5	52.5
合 計		1113	1113	1113				1113	1113	1113	1113

<関係団体>

北海道小平高等養護学校PTA
北海道小平高等養護学校協力会
北海道小平高等養護学校進路指導・卒後支援振興会
北海道小平高等養護学校同窓会



4 卒業進路先一覧

過去3年間の進路先一覧（R4～R6） 25・26・27期卒業生

【留萌・道北地区】		【札幌・道央地区】		
留萌市	NPO 法人ほっとスペース HuG（B 型） 株式会社らいおんハート留萌（B 型） マックスバリュ留萌店（一般） ツルハドラッグ留萌西店（一般） 有限会社 ルモンド（一般）	札幌市	手稲区	サツドラ手稲前田 7 条店（一般）
			西区	特定非営利活動法人ライズ(B 型) 株式会社 特殊衣料(一般)
			白石区	株式会社シズナイロゴス(一般) 合同会社ビーズ(B 型)
		遠別町	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 道の駅えんべつ富士見(一般)	北広島市
豊富町	社会福祉法人サロベツ福祉会 サロベツマイハート（B 型）	恵庭市	山崎製パン株式会社札幌工場（一般）	
増毛町	DCM ニコット株式会社増毛店（一般）	千歳市	株式会社 JAL グランドサービス札幌(一般)	
		江別市	株式会社 C&C ウェルフェア(移行支援)	
【旭川・上川地区】		＜グループホーム・宿泊型自立訓練＞		
旭川市	社会福祉法人旭川旭親会 旭川福祉園(B 型) NPO 法人双葉福祉会 多機能型障がい者就労支援 事業所ふたば(B 型) 特定非営利活動法人キャリアエスコート（就労移行） 社会福祉法人旭川ねむのき会 ねむのき神居（就労移行）	グループホーム ライズ(札幌市) グループホーム パル発寒北(札幌市) 宿泊型自立訓練ニューカトレア(江別市) きたひろしまベース(北広島市) 株式会社アガペ 2 番館(千歳市) グループホームアイリス(赤平市) ケアホーム百翠(赤平市) ライフサポート彩(富良野市) ヨツバメイツ(恵庭市)		
東川町	株式会社 CLOVER はぴふる(B 型)			
富良野市	社会福祉法人富良野あさひ郷 サポートステーションすきっぷ(B 型)			
【空知地区】		＜一人暮らし＞		
赤平市	社会福祉法人北海道光生舎メディック・エル（A 型）	ライフサポート住宅みどり(留萌市)		

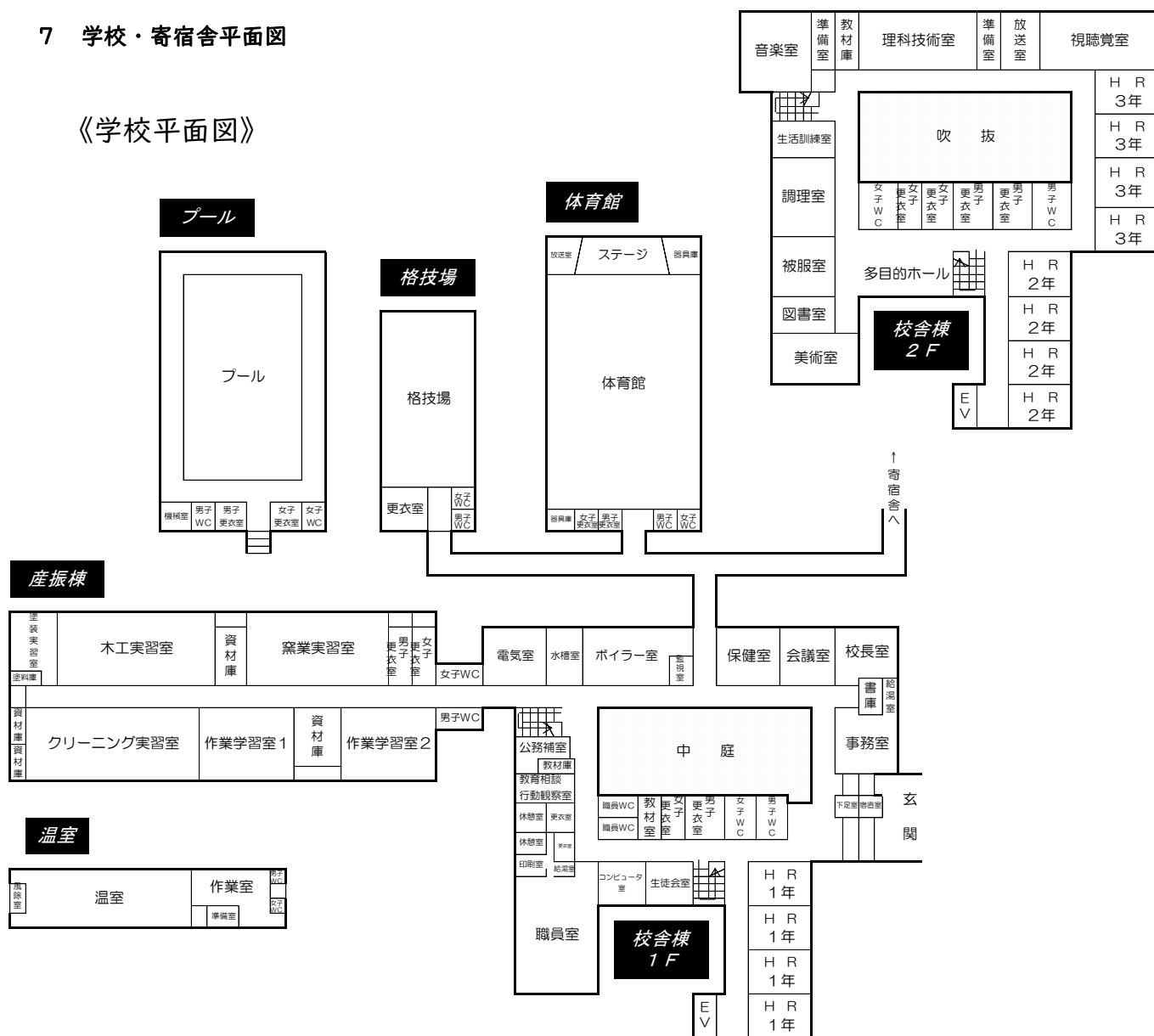
5 地域のセンター的役割

～留萌管内唯一の特別支援学校として～

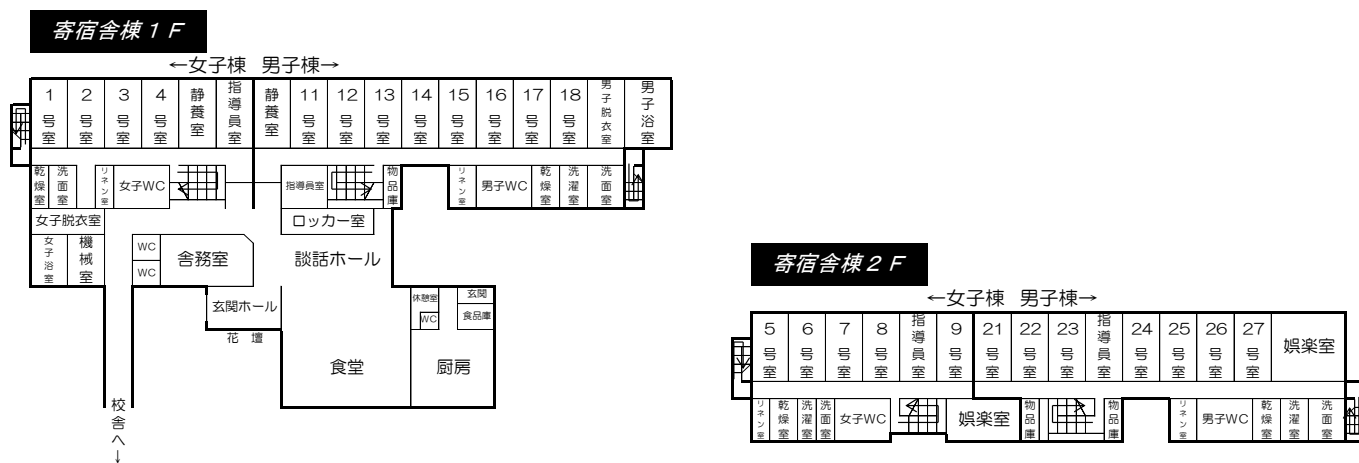
<療育機関との連携> ○ 乳幼児の療育相談 ○ 留萌地域（南部・中部・北部）療育推進連絡会・自立支援協議会との連携 ○ 留萌地方教育支援委員会就学相談事業への協力
<特別支援学級・通級指導教室・通常の学級への支援> ○ 教育相談の実施 ○ 留萌教育局専門家チームによる巡回相談の実施(発達検査、研修講師、指導助言) ○ パートナーティーチャー派遣事業の実施 ○ 留萌管内特別支援教育専門性向上セミナーの実施 ○ 研修会の実施・協力
<生徒の地域参加を支援する学校・地域の連携> ○ 管内小・中・高等学校との交流 ○ 学校間交流事業の推進 【小平高等養護学校PTA】 【小平高等養護学校 学校運営協議会】 【小平高等養護学校協力会】 【港町1区町内会】

7 学校·宿舍舎平面图

《学校平面图》



《寄宿舎平面図》



8 入学案内

(1) 出願資格 知的障がいのある者で、特別支援学校の中学部または中学校を卒業した者
(令和8年3月末までに卒業見込みの者を含む)

(2) 募集人員 16名(予定)

学科名	木 工 科	窯 業 科
定 員	8 名	8 名

(3) 修業年限 3年

(4) 出願手続き (ア) 募集要項告示 北海道教育委員会公報(12月予定)
(イ) 募集要項配布 各高等養護学校から中学校、特別支援学校、市町村教育委員会に送付します。(12月予定)
(ウ) 入学願書受付 在学(出身)中学校、特別支援学校(中学部)等の校長を経由して提出していただきます。(1月上旬の予定)
(エ) 選 考 方 法 選考検査の結果及び個人調査書を総合的に評価し、選考します。

(5) 教育相談 今年度は6月から実施予定です。(事前にご連絡ください。)

～ 教 育 相 談 の ご 案 内 ～

「地域における特別支援教育のセンター的役割を果たしています」

進学に関わる相談 (教務部・地域支援部)

- ・本校あるいは高等養護学校に進学を希望している方
- ・学校を見学したい方
- ・本校への進学を希望し、学科選択について悩んでいる方

学びや育ちなどに関わる相談 (地域支援部)

- ・ことばや落ち着きのなさなど発達に不安を感じる時
- ・家庭でのしつけやかかわり方などについて
- ・就学や進路の相談
- ・幼稚園・保育所や特別支援学級、通常の学級などにおける支援の方法について

☆相談をご希望の方はお気軽にご連絡ください。

〒078-3442 北海道留萌郡小平町字鬼鹿田代 577 番地 2

T E L (0164) 57-1203 F A X (0164) 57-1204

E-mail onne@hokkaido-c.ed.jp

ホームページ <http://www.obirakoutouyougo.hokkaido-c.ed.jp/>